

事務事業名		生活支援体制整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業			
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目			
	施策名	09 地域福祉の充実				会計	款	項	目
	基本事業名	02 高齢者支援の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 27 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		18	4	3	7
根拠法令		介護保険法、大船渡市地域助け合い協議会設置要綱		所属		事務事業区分			
部課名	保健福祉部 地域包括ケア推進室		A 政策事業 B 施設整備						
課長名	佐々木 卓也		C 施設管理 D 補助金等						
係名		電話	26-2943			E 一般(A~D以外)			
担当者	及川 慎一郎	内線	27-3111(439)						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
高齢者等に対する地域での介護予防活動と助け合い活動を推進する。 主な業務は次のとおり。 ①大船渡市地域助け合い協議会(第1層協議体)の開催 ②地区版の地域助け合い協議会(第2層協議体)が実施する助け合い活動の支援(財政的支援60万円/団体) ③助け合い活動の普及啓発を図る、地域住民向けの「出前講座」の実施				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
大船渡市地域助け合い協議会の開催、地区版の地域助け合い協議会の活動支援、地域住民向け「出前講座」の実施		ア	大船渡市地域助け合い協議会の開催
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	大船渡市地域助け合い創出研究会の開催
前年度と同じ。		ウ	地区版地域助け合い協議会の要望に応じた勉強会等における住民への説明回数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
65歳以上の高齢者		名称	
		単位	
		カ	65歳以上の高齢者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
助け合い活動が推進される。		名称	
		単位	
		サ	市民意識調査で「何事も助け合える地域である」と答えた市民の割合
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ	市民意識調査で「生きがいを持って生活している」と答えた市民の割合
安心して暮らしてもらう。		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	2,599	2,563	2,939	2,959	2,959	2,959
		都道府県支出金	千円	1,299	1,281	1,469	1,480	1,480	1,480
		地方債	千円						
		その他	千円	2,853	2,815	3,225	3,248	3,248	3,248
		一般財源	千円						
	事業費計(A)		千円	6,751	6,659	7,633	7,687	7,687	7,687
	人件費	正規職員従事人数	人	4	2	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	2,675	2,600	2,675	2,675	2,675	2,675
		人件費計(B)	千円	10,700	10,400	10,700	10,700	10,700	10,700
		トータルコスト(A)+(B)		千円	17,451	17,059	18,333	18,387	18,387
⑤活動指標		ア	回	1	1	2	2	2	
		イ	回	1	1	1	1	1	
		ウ	回	0	11	89	11	11	
⑥対象指標		カ	人	13,228	13,178	13,240	13,173	13,100	13,040
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	%	44.8	40.6	42.0	43.0	44.0	45.0
		シ	%	59.9	61.9	63.0	64.0	65.0	66.0
		ス							

事務事業ID	1662	事務事業名	生活支援体制整備事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	介護保険制度に規定する事業である。(平成27年4月施行、介護保険法第115条の45)
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみ世帯が増えてきている。 地区版の地域助け合い協議会では、地域の実情に応じた介護予防事業(サロン活動等)や助け合い活動が展開されている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> 地区版の地域助け合い協議会では、協議会活動に対する理解不足や、後継者等の人材不足が課題となっている。 上記課題への取組として、地域住民の理解を図るため地域公民館を対象とした「助け合い活動」の勉強会実施の要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？ 介護保険法に規定された高齢者の助け合い活動を推進する事業であり、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 介護保険法第115条の45に市町村の実施が規定されている。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 介護保険法第115条の45に規定されており、限定又は追加することはできない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 地区版の地域助け合い協議会の活動の支援と地域住民向け「出前講座」による助け合い活動の必要性の認識が、地域の実情に応じた介護予防活動と助け合い活動の拡大につながる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 介護保険法第115条の45に規定されており、廃止又は休止することができない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 介護保険法に規定された事業内容であり、市の判断で削減することはできない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要な人員や事務は最小限で行っている。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 65歳以上の高齢者等からは介護保険法の規定による介護保険料を徴収しており、それを財源とした事業である。(受益者負担による事務)

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																		
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
地域で行う助け合い活動について、地域住民の理解が図られるよう説明会を実施する。																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	各地区では、地域の実情に応じた助け合い活動を実施しているが、一部の住民の理解に止まっている感がある。 市では、地域住民向けの「出前講座」を実施して、住民の理解と参加の下で地区版の助け合い協議会の活動が推進されるように支援していく。